

# のびのび通信 第76号

2012年7月



夏の定番になりました発達障害児支援サークル「のびのび」主催のセミナー。夏季開催は、会発足の翌年以来7年めとなりました。

過去は、支援の基本として「連携」を、具体的な支援の手法として PECS をテーマとしており、昨年から、自閉症に特化した形でのセミナーとしています。講師は、昨年に引き続き納富先生、篠田先生にお願いしました。

「自閉症スペクトラム支援のための専門セミナー」として、初日に「性の理解に向けての取り組み」、二日目に昨年の見える会話の復習として「見える会話の実践」という構成にしました。様々なイベントと重なったにも関わらず、のべ100人の方々にご参加いただき、とても真剣に、この地域のレベルアップに向けて情報を共有していただけたのではないのでしょうか。

セミナーでは、「コミック会話を使い始めた直後とその一年後」や「性教育を進めるセッションの初回、2回目、3回目などその過程」など映像で紹介してくださって、成長の過程を目に焼き付けることができました。社会性を支えていくためには、様々な支援の手法が包括的に必要であり、それが有効に機能する実践例を知ることができ、とても有意義な内容だったと感じています。



発達障害児支援サークル「のびのび」は親の会のため、このようなセミナーを開始するときは、スタッフの子ども達を預ける託児が必要でしたが、その子たちも今では家で留守番ができるように成長し、さらに、その兄弟姉妹たちが、その支援にあたり、会場準備や片付けなどを手伝ってくれるようになりました。会場では、その兄弟児たちが友達と一緒に、暑い中、重労働を担ってくれました。



コミック会話体験中

発達障害児支援サークル「のびのび」は、“熱中症予防声かけプロジェクト”に参加しています。今回のような夏の活動には、熱中症対策が欠かせません。ホームページにプロジェクト実行委員会のホームページをリンクしているほか、セミナーでも声掛けコーナーを設けました。

[\(http://nobinobi.bigsite.net/\)](http://nobinobi.bigsite.net/)



発行:発達障害児支援サークル「のびのび」